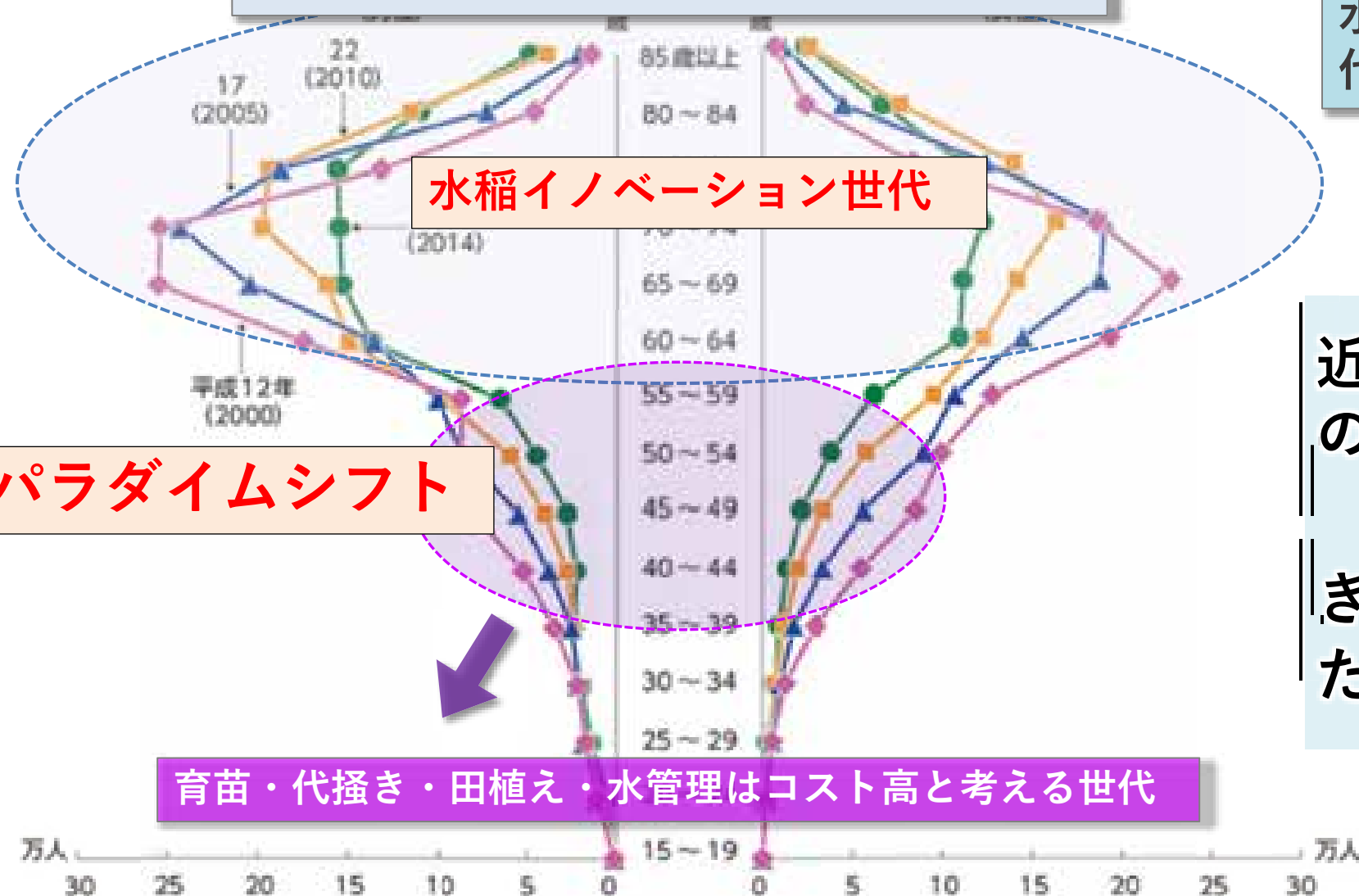


いよいよマクアケ

逆ピラミッド型年齢層別基幹農業人口



戦後、食料の無い時代から、水を使う稲作技術を確立させた層であり、米価の高い時代と、稲作は水稲移植が当然と考える世代

日本で乾田直播の拡大が鈍化していた理由

近年、農水省・NAROは大規模農家向けの湛水型乾田直播の推奨してきたが

大型のトラクターを持っている農家しかできなかった。設備投資を大きく、水を張らないといけなかったため**超コスト削減にはつながらず**拡大しなかった。

バイオスティミュラントの登場により
出芽後の水張りをほとんどしなくてもよくなった。

小中規模の農家でも今ある農機で節水型乾田直播に**転向できる**

Biostimulant
新しいカテゴリの乾田直播

節水型DDSRとは…

バイオステイミュラントの登場により

50年間変わらなかった日本の稲作が**パラダイムシフト**



にじのきらめき 走水5回

収量9.2俵 (552kg)

(1等・2等、高温障害あり)



ほしじるし 走水3回

収量8.5俵 (510kg)

品質良 (1等)



色彩選別機なし

既存の乾田直播から大きく減らせる作業体系（BS資材により）

ドローン散播10a（50秒）1回の搭載は40～50a

パワーハロー1回



ケンブリッジローラー1回



またはニプロスリップローラーシーダー



ブロキャス散播10a（100秒）1回の搭載は15ヘクタール



播種体系の簡素化

ドリル条間26センチ

パワーハロー⇒ドローンによる散播
⇒ケンブリッジローラー(覆土)



収穫当日(9月13日)

